

高知県感染症発生動向調査（月報）

2024年10月

高知県感染症情報センター
高知県衛生環境研究所
TEL:088-821-4961 FAX:088-821-4696

全国情報

第40週(9月30日～)から第44週(～11月3日)までの5週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における上位6疾患の合計は4週間に換算すると74.20で9月の76.99と比べて横ばいであった。新型コロナウイルス感染症は減少したが、手足口病、マイコプラズマ肺炎とインフルエンザは増加した。4-7月は過去10年間で最多であり、8-10月は2023年に次いで2番目に多かった。また、厚生労働省は11月8日、全国がインフルエンザの流行期に入ったことを発表した。

新型コロナウイルス感染症について、全国と高知県の定点報告数を図1に示す。2023年8月、2024年2月をそれぞれピークとする第9、第10波に続いて、第11波が到来した。全国は第30週、高知県は第29週をピークとして減少に転じた。

1位は手足口病で4週間換算値が35.62（9月1位31.09）と増加し、今季は7月（Coxsackievirus A6）と9月（同A16が流行）に二峰性のピークをもつ流行となった。2位は感染性胃腸炎で10.42（同3位10.56）と横ばいだった。3位はマイコプラズマ肺炎で8.68（同5位5.75）と増加した。4位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で7.58（同4位7.39）と横ばいだった。5位は新型コロナウイルス感染症で8.46（同2位19.78）と減少した。6位はインフルエンザで3.44（同7位2.14）と増加した。

表1 各週定点当たり報告数（全国）

No	疾病名	週	40週	41週	42週	43週	44週	計											
1	手	足	口	病	8.62	10.78	9.37	8.06	7.70	44.53									
2	感	染	性	胃	腸	炎	2.67	2.63	2.29	2.66	2.78	13.03							
3	マ	イ	コ	プ	ラ	ズ	マ	肺	炎	1.94	1.95	2.01	2.49	2.46	10.85				
4	A	群	溶	血	性	レ	ン	サ	球	菌	咽	頭	炎	1.92	2.00	1.70	1.94	1.91	9.47
5	新	型	コ	ロ	ナ	ウ	イ	ル	ス	感	染	症	3.07	2.38	1.86	1.69	1.57	10.57	
6	イ	ン	フ	ル	エ	ン	ザ	0.77	0.89	0.73	0.87	1.04	4.30						

県内情報

1. 全国との対比（定点当たり報告数）

上位6疾患の県内における報告数の合計は4週間に換算すると63.06で9月の62.80と比べて横ばいで、全国よりも少なかった（表2）。10月の上位6疾患は次のとおりである。

1位は手足口病で4週換算値が30.30（9月1位21.44）と増加したが全国よりも少なかった。2位は新型コロナウイルス感染症で8.60（同2位18.43）と減少したが全国と同等だった。3位はマイコプラズマ肺炎で8.22（同5位5.01）、4位はA型溶血性レンサ球菌咽頭炎で7.46（同4位5.84）といずれも増加し全国と同等だった。5位は感染性胃腸炎で6.59（同3位7.68）と減少し全国よりも少なかった。6位はRSウイルス感染症で1.89（同6位4.40）と減少したが全国よりも多かった。

表2 各週定点当たり報告数（高知県）

No	疾病名	週	40週	41週	42週	43週	44週	計		
1	手	足	口	病	5.48	7.80	7.04	8.48	9.08	37.88
2	新型コロナウイルス感染症				3.41	2.52	2.16	1.50	1.16	10.75
3	マイコプラズマ肺炎				2.75	2.13	1.13	2.13	2.13	10.27
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				2.44	1.56	1.60	2.12	1.60	9.32
5	感染性胃腸炎				2.00	1.56	1.32	1.72	1.64	8.24
6	RSウイルス感染症				0.48	0.68	0.56	0.24	0.40	2.36

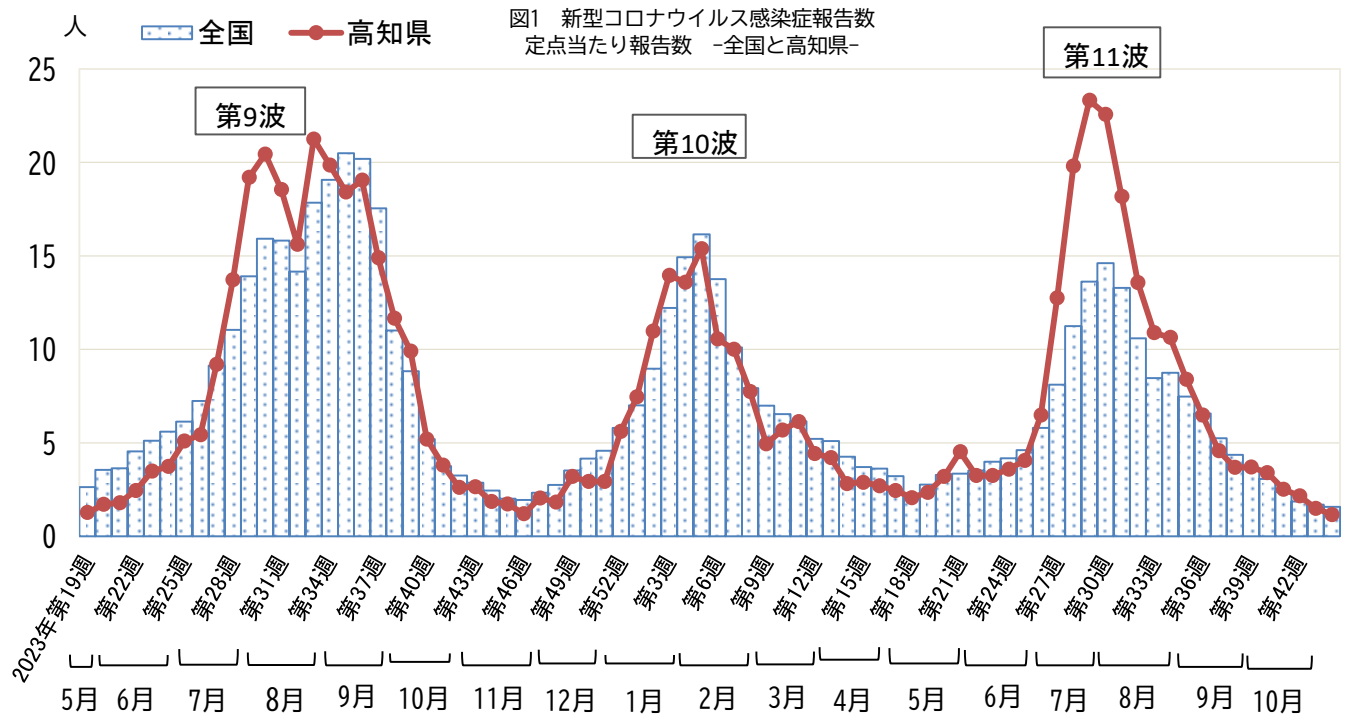


表3 高知県で検出された新型コロナウイルスの変異株

年 月		オミクロン株																																	BA. 5系統群			
		BA. 2系統群																					BA. 5系統群															
		BA. 2. 86系統									BA. 2. 75系統			XBB系統									XBC系統	XDQ系統	CX系統													
BA. 2系統	KP. 2	KP. 3	KP. 3. 1	KP. 3. 3	KP. 3. 3. 1	KP. 3. 3. 3	JN. 1	JN. 1. 16	MC. 11	BN. 1	FK. 1	計	EG. 1	EG. 5	EU. 1	FE. 1	FL. 1	FL. 1. 0	FL. 3	FL. 4	FY. 2	FY. 3	FY. 5	FY. 6	GE. 1	GJ. 1	GK. 1	HF. 1	HL. 1	HK. 3	HV. 1	XBB. 1	XBB. 2	計	HW. 1	XDQ. 1	CK. 1	
2023 5											1		1																				2	2				
6												0	1				1			1														3				
7												0		1						1													4	1	7			1
8											6	6	1	11					2		1	1			1	1			1	3	1			9	32			
9												5	5	1	12	2	1				1			1				1	2	1			1	2	25	3		
10 1	1											1		5					1													1		2	9			
11 6	6											6		1	1																				2			
12 12	12							1				13																					1		1			
2024 1	25							2				27		2																			5	2	9			
2 37	37											37		2															1			1			4			
3 11	11							1				12																					1		1			
4 2	2											2																							0			6
5			1		2							3																							0			5
6				1	6		3		1			11																							0			
7		2		6	30		16		1			55																							0			
8				2	33		13					48																							0			
9					4	1	2			1		8																							0			
10																																						

2. 全体の傾向

麻しん、風しんの報告無し。

気管支炎・肝障害を呈した1歳児の糞便（県内医療機関で10月18日に採取）からエコーウイルス11型が1件検出された。同ウイルスは、7月には感染性胃腸炎の患者から1件、9月は同じく胃腸炎の患者から2件が検出されている。厚生労働省HPに2023年7月7日に掲載された“Disease outbreak news”に「エンテロウイルス・エコーウイルス11型感染症-ヨーロッパ地域」と題した記述がある（https://www.forth.go.jp/topics/2023/202300707_00001.html）。これによれば、フランス、クロアチア、イタリア、スペイン、スウェーデン、英国において新生児のエコーウイルス11型の確定感染例が報告された。このウイルスは肝障害と多臓器不全を伴う新生児敗血症を起こし、死亡する例も少なくないことから、世界保健機関（WHO）は各国に対し、症例の監視と報告を奨励している。今後、県下においてもエコーウイルス11型の感染動向について注目されるところである。

3. 主な疾患の発生状況

1) インフルエンザ

報告数 41名 (9月 46名)。2023/24シーズンは9月に始まった流行が長く続き、3つのウイルス株 (AH3NT、AH1pdm09、B/Victoria) が相次いで流行した。2023年9月～2024年5月に23,022名が定点報告され、過去10年間で最大の流行となった。ようやく終息するかに見えたが7月70名、8月51名、9月46名、10月は41名と小流行が続いており、流行は終息しないままである。中央西、須崎、高知市、中央東、幡多から表記の順に多く報告された。

全都道府県で流行がくすぶっていたが、全国で増加し報告数が6位に登場し、厚生労働省は11月8日に全国でインフルエンザの流行期に入ったと発表した。都道府県別の上位3位は沖縄県 (70.36)、鹿児島県 (6.76)、静岡県 (6.46) である。ウイルスは9月にAH3NTが3件、10月はAH1pdm09が2件検出されている。

2) 新型コロナウイルス感染症

報告数 473名 (9月 811名)。図1に2023年19週 (5月) 以降の県下定点報告数を示す。全国の定点報告数と概ね一致しているが、第11波は高知県において全国レベルよりも大きな流行になった。

県下全域から報告があり、中央西と幡多でとくに多かった。県下で採取されたウイルス株の解析結果を表3に示す。2023年10月以降はすべてオミクロン株のBA.2系統群に分類されるウイルスである。8-9月の2カ月は、BA.2.86系統のKP.3.3が37件、KP.3.3.3が15件、KP.3.1が2件、KP.3.3.1、MC.11がそれぞれ1件検出されている。

3) 咽頭結膜熱

報告数 8名 (9月 24名)。2023年の年間報告数は合計980名で、過去10年で最多であった。2023年10月～2024年3月は、同時期として過去10年間で最多の報告数が続いたが、5月以降は標準的な数に落ち着いている。

高知市と中央東から報告された。咽頭結膜熱に該当しないが、手足口病の患者からAdenovirus 2型が3件検出されている。

4) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 233名 (9月 146名)。2023年10月以降は、多い報告数が続いている。県下全域から報告があり、中央西、幡多、高知市、須崎でとくに多かった。細菌は検出されていない。劇症型溶血性レンサ球菌感染症も多発しており、第42週までに全国から計1,615名が報告され、最多を更新している。高知県でも6名が報告されている。

5) 感染性胃腸炎

報告数 206名 (9月 192名)。新型コロナウイルス感染症流行が始まった2020年以降は少ない数字で推移している。県下全域から報告があり、須崎、高知市がとくに多かった。病原体は検出されていない。

6) 水痘

報告数 10名 (9月 16名)。ワクチン定期化の効果で少ない数で推移しているがゼロにはならない。高知市から5名、中央東から3名、中央西から2名が報告された。

7) 手足口病

報告数 947名 (9月 536名)。4月に流行が始まり、6月にひとつ目のピークを形成し、8月に再び増加に転じ、未だピークアウトしていない。複数のウイルスが流行したので、流行規模は過去10年間で最も大きいものとなった。県下全域から報告があり、幡多、中央西、須崎、高知市、中央東、安芸の順に多かった。Coxsackievirus A16が8月以降に26件検出された。今季の主たる流行株は4月～7月に流行したCoxsackievirus A6と、8月以降に流行した同A16と同A10の3種類である。

臨床診断名「手足口病」の検体から、Enterovirus D68が9月、10月と各1件検出されている。このウイルスは喘鳴や呼吸不全に加えて急性弛緩性麻痺 (Acute Flaccid Paralysis, AFP) を起こすことで知られ、県外でも流行の兆しが伝えられている。AFPは全数報告の疾患であり、その動向を注視する必要がある。

8) 伝染性紅斑

報告数 10名 (9月 1名)。高知市から9名、中央東から1名が報告された。2020年9月以降は一桁の報告数が続いていたが、10月は10名に増加した。原因ウイルスのHuman parvovirus B19は、県下で4月に2件 (臨床診断名：その他)、5月、7月と9月に各1件、10月に2件 (臨床診断名はいずれも手足口病) が検出されており、4年ぶりの同ウイルス検出となった。

9) 突発性発疹

報告数 35名 (9月 26名)。想定内の推移である。

10) ヘルパンギーナ

報告数 34名（9月 51名）。2022年は8月から流行が始まり過去10年間で最小、翌2023年は過去10年で最大の流行となった。2024年は5月から流行が始まり6月がピークで、標準的な規模である。須崎以外から報告があり、中央西と高知市でとくに多かった。今季は同診断の者からエンテロウイルスが検出されておらず原因ウイルスは不明である。

11) 流行性耳下腺炎

報告数 2名（9月 1名）。2020年5月以降は一桁の少ない数字で推移している。須崎と幡多で各1名が報告された。

12) RSウイルス感染症

報告数 59名（9月 110名）。2021年は過去10年で最大の流行だったが、2024年は2021年、2017年に次ぐ3番目の流行となった。2022年は7月に流行が始まり10月がピーク、2023年は8月がピークだった。2024年は4月に増加して8月にピークとなり、4年連続で夏の流行となった。県下全域から報告があり、中央東がとくに多かった。ウイルスは検出されていない。

13) 流行性角結膜炎

報告数 5名（9月 0名）。2019年以降は一桁の報告数で推移している。

14) 細菌性髄膜炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 0名（9月 0名）。2017年以降は年間一桁の報告数で推移していたが、2024年はすでに10人に達している。

15) 無菌性髄膜炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 1名（9月 0名）。高知市から乳児例が報告された。従来は年間20－30名台の報告数で推移していたが、2017年以降は1～7名/年で推移している。

16) マイコプラズマ肺炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 82名（9月 40名）。なおも増加傾向にありピークアウトしていない。過去10年間では2016年、2015年に次いで3番目に大きな流行となった。幡多、高知市、中央東、安芸から表記の順に多く報告された。流行株のマクロライド感受性についてまだ情報がない。

基幹定点の月報疾患

17) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 32名（9月 25名）。中央東、高知市、安芸から表記の順に多く報告された。想定内の推移である。

18) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 0名（月 0名）。2015年以降は、年間0～2名の報告にとどまっている。

高知県感染症発生動向調査部会
前田 明彦

【参考】

全数報告

年別全数報告数（令和6年10月）

類型	病名																	総計
		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024		
2	結核	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	60	65	73	53	55	1,613	
	計	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	60	65	73	53	55	1,613	
3	コレラ	1															1	
	細菌性赤痢							2									2	
	腸管出血性大腸菌感染症	12	3	8	3	5	2	34	2	4	9	1		3	7	5	98	
	腸チフス						1				1						2	
	パラチフス																0	
	計	13	3	8	3	5	3	34	4	4	10	1	0	3	7	5	103	
4	A型肝炎	3					3	1			2					1	10	
	E型肝炎	1		1							2	1		1			6	
	オウム病								1								1	
	Q熱																0	
	サル痘														1		1	
	重症熱性血小板減少症候群				3	11	3	7	5	5	9	6	4	8	10	9	80	
	つつが虫病	2	5	8	3	3		4	11	2	3	3	1	5	11	1	62	
	デング熱	1			3	2	1				2						9	
	日本紅斑熱	7	15	4	1	7	4	13	6	13	10	23	16	12	16	8	155	
	日本脳炎	1															1	
	マラリア		1								1				1	1	4	
	レジオネラ症	3	6	9	2	4	4	3	6	9	7	8	8	8	7	7	91	
	レプトスピラ症		4	2	1				1						1		9	
	計	18	31	24	13	27	15	28	30	29	36	41	29	34	47	27	429	
5	アメーバ赤痢	2	2	3		7	3	2	5	3	3		1	5	1	1	38	
	ウイルス性肝炎	3		3		1			2	1	1	2	2	2	1		18	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症					7	19	21	22	21	20	10	5	12	9	11	157	
	急性弛緩性麻痺									1	2				1	2	6	
	急性脳炎	1	3	1		1	1	1	1		2	1	1	2			15	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3				2			2	1	1	3		1	1		14	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1	3	1		3	5	6	2	2	5	4	1	6	39	
	後天性免疫不全症候群	2	3	3	2	7	6	9	6	9	1	6		6	2	4	66	
	ジアルジア症		1	1						1							3	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症					1	5	3	4	7	3	1	1	3	7	8	43	
	侵襲性肺炎球菌感染症				1	4	12	16	18	14	22	11	9	6	12	17	142	
	水痘（入院例に限る）						2	1	1	3		3	3	3	1		17	
	髄膜炎菌性髄膜炎																0	
	梅毒	2	4	10	8	4	11	12	23	19	20	35	96	51	62	35	392	
	播種性クリプトコックス症							1	3	5				4	3	1	17	
	破傷風	1	1	1		4	3	3	1		2	3	1	3	1	1	25	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症						1		1	1							3	
	百日咳									173	172	35	3	9	7	4	403	
風しん			4	9	1				3							17		
麻しん																0		
	計	14	15	29	20	40	63	72	94	268	251	112	127	111	109	90	1,415	
動物	鳥インフルエンザ		1														1	
	計		1														1	
総計		201	242	193	164	210	210	256	238	398	400	214	221	221	216	177	3,561	

類型	病名	報告月										総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
2	結核	3	6	7	3	5	5	7	3	2	14	55
3	腸管出血性大腸菌感染症					1			3		1	5
4	A型肝炎				1							1
	重症熱性血小板減少症候群		1	1		4		1		1	1	9
	つつが虫病	1										1
	日本紅斑熱					2	2	1	2		1	8
	マラリア					1						1
	レジオネラ症		1				1	1	2		2	7
5	アメーバ赤痢								1			1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	1	1			2		2	2	2	11
	急性弛緩性麻痺							1	1			2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1		1	1				1	1	1	6
	後天性免疫不全症候群			1					2	1		4
	侵襲性インフルエンザ菌感染症		1	1	2	2			2			8
	侵襲性肺炎球菌感染症	4	1	3	1	3	1	2			2	17
	梅毒	4	2	3	2	2	5	4	5	7	1	35
	播種性クリプトコックス症									1		1
	破傷風										1	1
	百日咳						1		2		1	4
総計		14	13	18	10	20	17	17	26	15	27	177

高知県感染症情報 月報（61定点医療機関）

2024年

10月

定点名	疾病名	保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前月	前年同月
内科・COVID-19	インフルエンザ			7	12	11	7	4	41	46	2,623
	新型コロナウイルス感染症		14	74	112	84	32	157	473	811	627
小児科	咽頭結膜熱			2	6				8	24	131
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		5	27	103	28	20	50	233	146	212
	感染性胃腸炎		17	24	114	4	27	20	206	192	145
	水痘			3	5	2			10	16	13
	手足口病		45	148	325	96	88	245	947	536	170
	伝染性紅斑			1	9				10	1	1
	突発性発疹		1	5	19	3	1	6	35	26	20
	ヘルパンギーナ		2	8	17	4		3	34	51	126
	流行性耳下腺炎						1	1	2	1	2
	RSウイルス感染症		1	31	19	2	4	2	59	110	5
眼科	急性出血性結膜炎										
	流行性角結膜炎				5				5		2
STD	性器クラミジア感染症				6			1	7	8	3
	性器ヘルペスウイルス感染症							1	1		1
	尖圭コンジローマ				2				2	2	
	淋菌感染症				1				1	3	1
基幹	細菌性髄膜炎										
	無菌性髄膜炎				1				1		1
	マイコプラズマ肺炎		1	2	23			56	82	40	2
	クラミジア肺炎（オウム病は除く）							1	1		
	感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る）										1
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		2	8	22				32	25	28
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症										
	薬剤耐性緑膿菌感染症										
計			88	340	801	234	180	547	2,190	2,038	4,114
前月			86	378	738	164	245	427			
前年同月			168	766	1,613	291	245	1,031			
小児科定点数			2	6	9	2	2	4			

高知県感染症情報 月報（61定点医療機関）

2024年

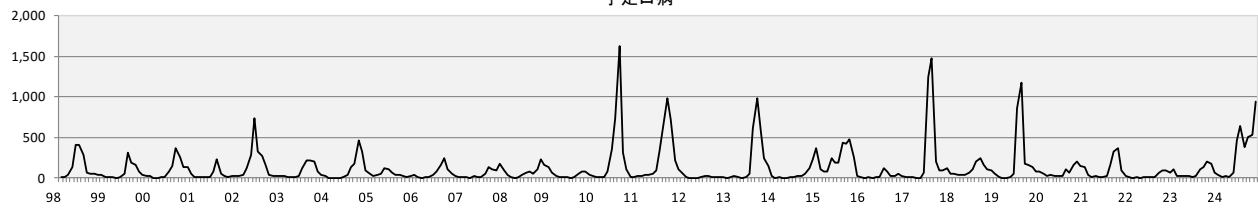
10月

定点当たりの人数

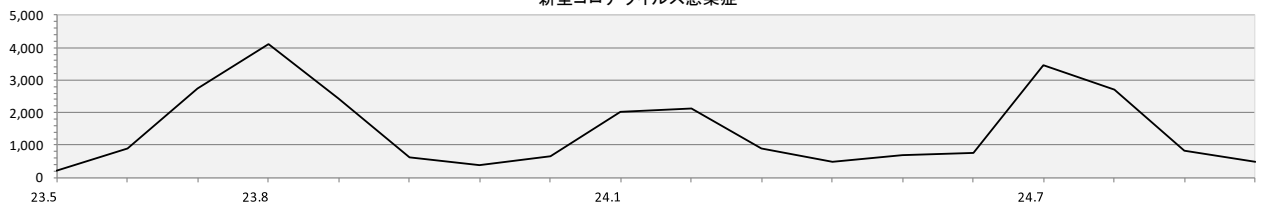
定点名	保健所 疾病名	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前月	前年同月
内科・COVID-19	インフルエンザ		0.70	0.85	2.75	1.75	0.51	0.94	1.05	59.61
	新型コロナウイルス感染症	3.50	7.40	8.00	21.00	8.00	19.65	10.75	18.43	14.25
小児科	咽頭結膜熱		0.33	0.66				0.32	0.96	5.05
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.50	4.51	11.44	14.00	10.00	12.50	9.32	5.84	8.15
	感染性胃腸炎	8.50	4.00	12.67	2.00	13.50	5.00	8.24	7.68	5.57
	水痘		0.51	0.55	1.00			0.40	0.64	0.50
	手足口病	22.50	24.67	36.10	48.00	44.00	61.25	37.88	21.44	6.53
	伝染性紅斑		0.17	0.99				0.40	0.04	0.04
	突発性発疹	0.50	0.84	2.10	1.50	0.50	1.50	1.40	1.04	0.77
	ヘルパンギーナ	1.00	1.33	1.89	2.00		0.75	1.36	2.04	4.84
	流行性耳下腺炎					0.50	0.25	0.08	0.04	0.08
	RSウイルス感染症	0.50	5.17	2.10	1.00	2.00	0.50	2.36	4.40	0.20
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎			5.00				1.67		0.67
STD	性器クラミジア感染症			3.00			0.50	1.17	1.33	0.50
	性器ヘルペスウイルス感染症						0.50	0.17		0.17
	尖圭コンジローマ			1.00				0.33	0.33	
	淋菌感染症			0.50				0.17	0.50	0.17
基幹	細菌性髄膜炎									
	無菌性髄膜炎			0.20				0.13		0.13
	マイコプラズマ肺炎	1.00	2.00	4.60			56.00	10.27	5.01	0.26
	クラミジア肺炎（オウム病は除く）						1.00	0.13		
	感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る）									0.13
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2.00	8.00	4.40				4.00	3.13	3.50
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
小児科定点分計		39.00	49.63	77.35	93.25	80.25	101.91	73.45	63.60	105.59
前月		29.50	50.35	66.89	54.00	95.00	80.64			
前年同月		57.25	85.95	131.07	82.00	73.00	134.38			

注目される疾患の月別推移

手足口病



新型コロナウイルス感染症



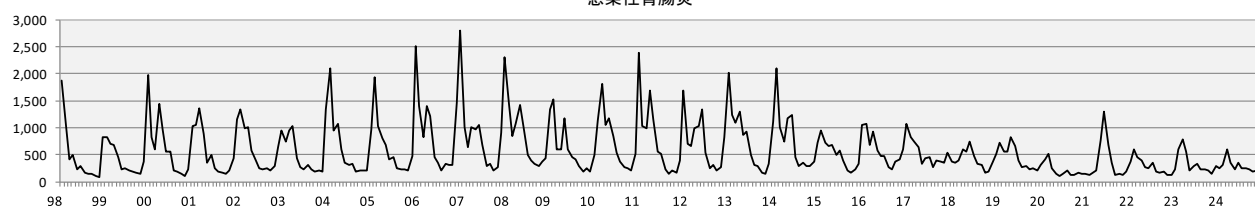
マイコプラズマ肺炎



A群溶血性レンサ球菌感染症



感染性胃腸炎



RSウイルス感染症



2024年10月

ウイルス, 細菌の分離状況

ウイルス，細菌の分離状況

[illegible]

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
32	12	女	—	咳嗽, 発疹,	ぬぐい液	9/26	Epstein-Barr virus
33	1	男	手足口病	38℃, 発疹,	ぬぐい液	9/30	Coxsackievirus A16
							Cytomegalovirus
34	1	男	手足口病	水疱, 口内炎,	ぬぐい液	10/4	Coxsackievirus A16
							Rhinovirus
35	11	女	インフルエンザ	40℃,	ぬぐい液	10/7	Influenza virus A H1pdm09
36	2	女	手足口病	発疹,	ぬぐい液	10/7	Rhinovirus
37	9	男	手足口病	水疱, 口内炎,	ぬぐい液	10/7	Coxsackievirus A16
							Human herpes virus 7
							Rhinovirus
38	7	女	手足口病	発疹,	ぬぐい液	10/8	Enterovirus D68
							Rhinovirus
39	1	男	手足口病	発疹,	ぬぐい液	10/9	Coxsackievirus A16
							RhinovirusC
40	2	男	手足口病	38℃, 発疹,	ぬぐい液	10/15	human parvovirus B19
							Human herpes virus 6
							Rhinovirus
41	1	女	手足口病	発疹,	ぬぐい液	10/15	RhinovirusC
42	3	女	手足口病	発疹,	ぬぐい液	10/17	Coxsackievirus A16
							Epstein-Barr virus
43	1	男	—	気管支炎, 肝機能,	ふん便	10/18	Echovirus 11
44	5	男	手足口病	38℃, 発疹,	ぬぐい液	10/21	Human herpes virus 7
45	4	男	手足口病	発疹,	ぬぐい液	10/21	Adenovirus 2
							Coxsackievirus A16
							Human herpes virus 7
46	5	男	手足口病	38℃, 発疹, 口内炎,	ぬぐい液	10/22	Epstein-Barr virus
							Human herpes virus 7
47	3	男	手足口病	38℃, 発疹,	ぬぐい液	10/22	Adenovirus 2
							Coxsackievirus A16
							Rhinovirus
48	2	男	手足口病	38℃, 発疹,	ぬぐい液	10/22	Adenovirus 2
							human parvovirus B19
							Enterovirus 71
49	4	男	手足口病	発疹, 口内炎,	ぬぐい液	10/23	Epstein-Barr virus
							Human herpes virus 7
50	7	女	手足口病	38℃, 発疹, 口内炎,	ぬぐい液	10/23	Human herpes virus 7
51	3	女	手足口病	発疹, 口内炎,	ぬぐい液	10/25	Human herpes virus 7
52	2	男	手足口病	咳嗽, 発疹,	ぬぐい液	10/28	Human herpes virus 7
53	4か月	男	不明発疹症	38℃, 発疹,	ぬぐい液	10/28	Human herpes virus 6
54	16	男	インフルエンザ	38℃, 咳嗽,	ぬぐい液	10/29	Influenza virus A H1pdm09

病原体検出状況

臨床診断名	病原微生物	2024年										2024年 総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
A群溶血性レンサ球菌咽頭	<i>Streptococcus pyogenes</i> T1			1		3	1					5
	<i>Streptococcus pyogenes</i> TB3264				1							1
	<i>Streptococcus pyogenes</i> Untypable		1	1								2
	計		1	2	1	3	1					8
咽頭結膜熱	Adenovirus 2					1						1
	計					1						1
インフルエンザ	Adenovirus 1							1				1
	Coxsackievirus A6						1					1
	Influenza virus A H1pdm09	1									2	3
	Influenza virus A H3 NT	3	1							3		7
	Influenza virus B/Victoria	3	3	3	7							16
	Parainfluenza virus 3		1									1
	SARS-CoV-2	1	1									2
	計	8	6	3	7		1	1		3	2	31
感染性胃腸炎	Echovirus 11							1		2		3
	Norovirus GI NT	1	2	1								4
	Norovirus GII NT	4		2		2	1			2		11
	Rhinovirus							1				1
	Rotavirus group A G2			1								1
	Sapovirus genogroup unknown		1									1
	計	5	3	4		2	1	2		4		21
新型コロナウイルス感染症	SARS-CoV-2	42	45	25	9	9	9	66	16	24		245
	計	42	45	25	9	9	9	66	16	24		245
手足口病	Adenovirus 1								1			1
	Adenovirus 2							1			3	4
	Adenovirus 5				1							1
	Coxsackievirus A6				6	8	8	6				28
	Coxsackievirus A10								2	2		4
	Coxsackievirus A16								9	9	8	26
	Cytomegalovirus		1		1	1	2	1		4	1	11
	Echovirus 3								1			1
	EnterovirusD68									1	1	2
	Enterovirus71		1								1	2
	Epstein-Barr virus					2	3	2		2	4	13
	Human herpes virus 6				1	2	1	3		2	1	10
	Human herpes virus 7				1	1	3	2	1	4	8	20
	human parvovirus B19					1		1		1	2	5
	Rhinovirus								1	8	6	15
	RhinovirusA10								1			1
	RhinovirusA20									1		1
	RhinovirusA58								3	2	1	6
	RhinovirusC										2	2
	RhinovirusC2					2	1					3
	RhinovirusC42				1							1
	計		2		11	17	18	16	19	36	38	157
伝染性紅斑	Epstein-Barr virus											
	Rhinovirus	1										1
	計	1										1
無菌性髄膜炎	Human herpes virus 6		1									1
	Human herpes virus 7											
	Norovirus GII NT		1									1
	計		2									2
ヘルパンギーナ	Herpes simplex virus 1					1						1
	計					1						1
その他	Adenovirus 2						1	2				3
	Adenovirus 41									1		1
	Coxsackievirus A6					2	1					3
	Coxsackievirus A10								1			1
	Cytomegalovirus			1	1			1				3
	Echovirus 11										1	1
	Enterovirus71	1										1
	Epstein-Barr virus	1	1	1	3	4					1	11
	Human herpes virus 6			2	1	3		1		1	1	9
	Human herpes virus 7		1		2				1	1		5
	Human metapneumovirus			2								2
	human parvovirus B19				2							2
	Influenza virus B/Victoria				1							1
	Norovirus GII NT				1							1
	Parainfluenza virus 1				1							1
	Parainfluenza virus 3					3						3
	Respiratory syncytial virus A									1		1
	Rhinovirus			1		3	2	3	1	1		11
	RhinovirusA10								1			1
	RhinovirusA38									1		1
	RhinovirusA58									1		1
	RhinovirusA78							1				1
	<i>Escherichia coli</i> OUT afaD								1			1
	<i>Staphylococcus saprophyticus</i>					1						1
	<i>Staphylococcus simulans</i>					1						1
	計	2	2	7	12	17	4	8	5	7	3	67
総計		58	61	41	40	50	34	93	40	74	43	584